

# 当院での体重コントロール不良患者 への栄養指導介入

医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック

○佐藤梨理子 高橋智仁 二階堂剛史 上野智敏 酒井伸一郎

# 目的

適切な体重管理は、透析中の血圧低下防止、うっ血性心不全などの合併症予防に大変重要である。今回、体重の自己管理が困難な患者に対し、栄養指導を中心とした介入の取り組みをしたので報告する。

# 対象

当院の透析患者254名中  
(下記条件に該当する31名)

中1日に3%、中2日で5%以上の体重増加。

+

透析後半に開始時より30mmHg以上血圧低下。

または

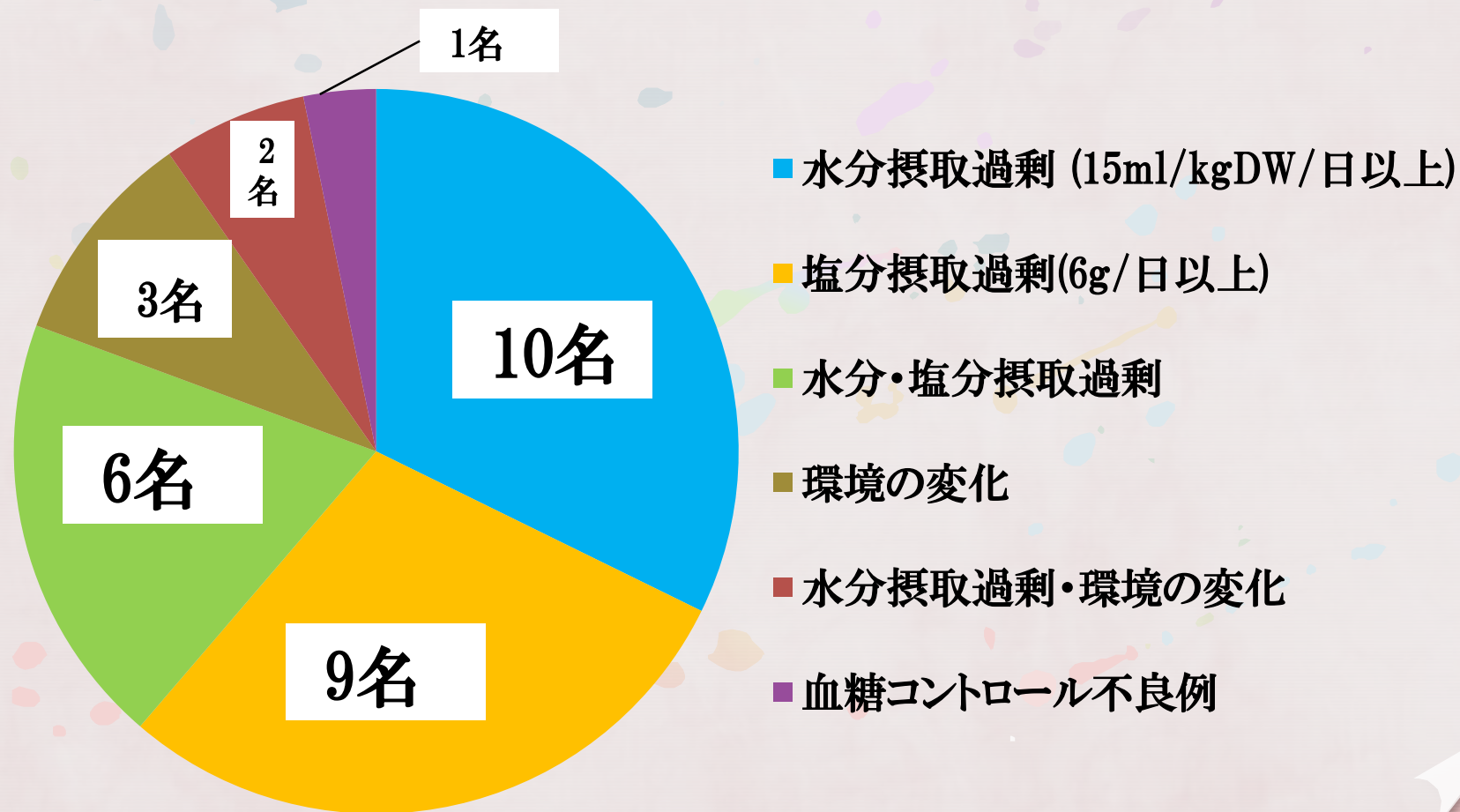
心拡大例にも関わらずDWまで達しない。

# 方法

期間：H28年8月～H29年5月

- ①.体重管理不良患者に対し声掛け、透析中にベットサイドで栄養指導。
- ②.①でも改善ない患者に対しては、非透析日に来院してもらい栄養指導。
- ③.その後も改善なければ、透析管理入院。

# 【結果①】体重管理不良の原因



# ①水分摂取過剰について

## 【理由】

- 保存期の水分摂取習慣が抜けない
- 栄養剤やジュース、お酒を飲む習慣あり

## 【指導内容】

適正水分量の算出

マイボトル持参を促す

## ②塩分摂取過剰について

### 【理由】

・漬物が好き



・濃い味付けを好む



### 【指導内容】

フードモデルで塩分量を確認し、減らす方法を検討

塩分摂りすぎが口渇につながることを指導



### ③その他環境の変化等

#### 【理由】

•尿量減少



#### 【指導内容】

水分量のin-outを  
明確化するため、  
体重測定 of 習慣付け

•環境の変化

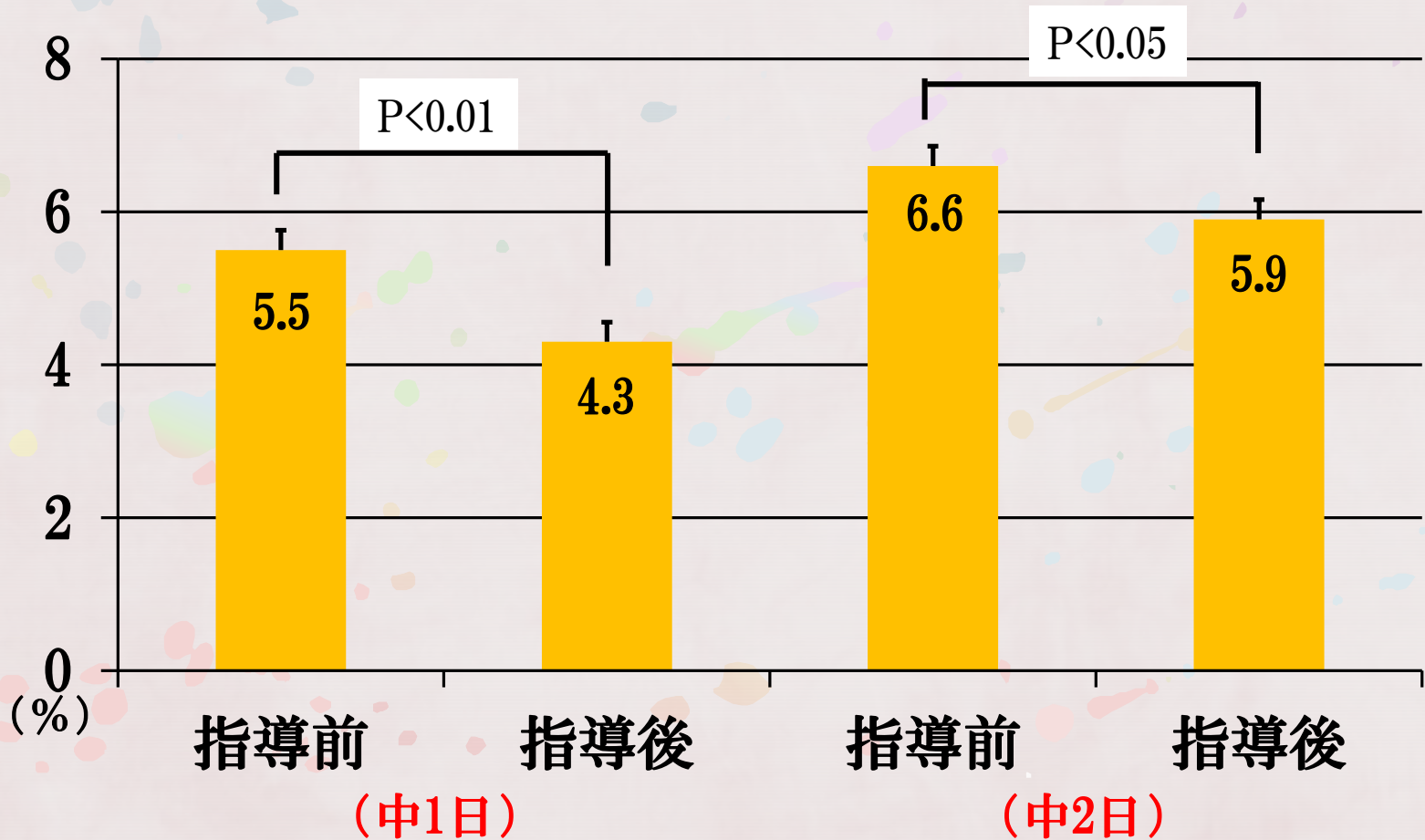


環境変化の原因を聴取し、  
対策を一緒に検討

基本家族同伴で指導！  
(独居や家族がいない場合を除く)



# 指導前後の 平均体重増加率の比較



## 【結果②】

- ①中1日、中2日共に指導前後で、平均体重増加率において有意な減少がみられた。
- ②指導後より患者様に、『透析中に血圧が下がらなくなった』といった自覚症状の改善も得られた。

# 考察

体重増加の原因は、水分で最も多く、次いで塩分であった。これに対する栄養指導の介入は有効であった。

# 今後の課題

指導前後で有意な減少はあったが、未だ  
中1日3%、中2日5%に達しない方が多い。

今後、家族背景や生活習慣等を考慮

しながら栄養指導を継続していきたい。

# 茨城人工透析談話会

## C O I 開示

筆頭発表者名：佐藤 梨理子

演題発表に関連し、開示すべきCOI  
関係にある企業などはありません。